



2023年4月5日(水) 全日本教職員連盟

自由民主党国会議員と若手教員・教員志望学生との意見交換会

徳島県教職員団体連合会から森下先生が参加

4月5日、自由民主党会館において、中村裕之衆議院議員(自民党文部科学部会長)、井原巧衆議院議員(同部会長代理)、青山周平衆議院議員(自民党令和の教育人材確保に関する特命委員会事務局次長)の3名と、若手教員・教員志望学生との意見交換会が開催されました。なお、この会議は日本大学文理学部教授の末富芳教授からの呼びかけで、全日教連が賛同・協力し、実現したものです。

全日教連から二人選ばれ、徳島県教職員団体連合会からは森下侑那氏(上勝町立上勝中学校)が参加しました。もう一人は栃教協会員仲江川卓哉氏(栃木市立千塚小学校)が参加し、教師のやりがいや勤務の実態等について現場の声を伝えました。

その中で、子供の成長を見られる素晴らしい仕事であるが、業務が非常に多く、勤務時間が非常に長くなってしまっていることや、新任でいきなり担任となり、周りに助けをもらうことができないこと、だからこそ、教師の定数を増やしてほしいことやICT化のより一層の進展を求めること等の話がありました。

国会議員の方々からは「貴重な現場の生の意見を聞くことができた。やはり、なんとしても人員増及び処遇改善はしなくてはならない」との声が上がり、それぞれの勤務地や経験から違っている考えについて、また今すぐして欲しいことは何か等の質問があり、お二人からは、現在進行形だからこそ説得力がある回答がありました。

またコーディネートした前田委員長からも、実態に即した働き方改革及び処遇改善の具体的提案が示されました。

さらに参加された妹尾昌俊氏（教育研究家）からも具体的な業務改善につながる提案等もあり、非常に活発な意見交換会となりました。

全日教連では今後も、関係団体と連携し、学校における業務&処遇改善の議論が国民的コンセンサスを得ることができるよう働きかけてまいります。

